

令和2年度地方創生臨時交付金実績まとめ

総事業費: 376,781,696円

交付金充当: 312,625,033円

交付確定額: 312,625,033円

交付金概要: 全43事業実施(高額事業トップ3)

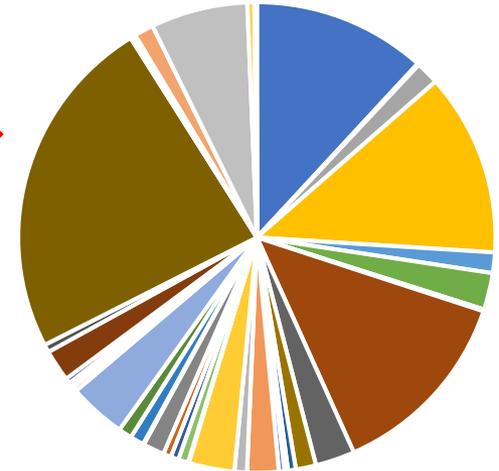
- ① がんばる片品村民応援プレミアム付商品券事業
- ② 片品村がんばる事業者応援給付金交付事業
- ③ 観光/シティプロモーション活動事業

- 地域経済対策支援事業
- 大学生・短大生・専門学生支援金給付事業
- GIGAスクール構想関連事業
- GIS関連システム整備事業
- 片品村交通支援事業
- 地域の名産品魅力発信事業
- 広告誌掲載支援事業
- 観光業Wi-Fi強化支援事業
- 移動スーパーによる地域の生活支援事業
- 介護事業所支援
- スクールバス臨時増車
- スクールバス購入事業
- 小中学校感染症対策環境整備事業
- 文化センター用飛沫防止対策用アクリル板購入事業
- 高齢者携帯端末買替促進事業
- 公共的空間・安心確保事業
- 学校保健特別対策事業費補助金
- 災害避難所用パーティションの購入
- 高齢者及び児童の感染拡大予防対策
- ウィンタースポーツ支援事業
- 公共観光施設従事者及び利用者の感染症防止対策事業
- 学校保健特別対策事業(単独分)

内訳



88,614,773円
49,628,460円
47,000,000円



- 片品村小口資金融資運転資金利子補給
- 観光/シティプロモーション活動事業
- 在宅勤務導入支援事業
- 片品村がんばる事業者応援給付金交付事業
- 片品村交通業者支援事業
- 空撮を活用した観光PR事業
- 観光案内強化事業
- 水道基本料金免除事業(特別会計事業)
- 医療従事者支援事業
- 介護従事者支援事業
- スクールバス利用者消毒液設置事業
- 学校の臨時休業に伴う学習等への支援事業
- 子ども学校用日よけシート設置事業
- 学校給食関連事業者への応援事業
- 非接触型検温・消毒液機購入事業
- 小中学校LAN整備事業
- がんばる片品村民応援プレミアム付商品券事業
- 役場庁舎感染症防止対策強化事業
- がんばる農業者経営継続支援金交付事業
- 屋外を利用した公共観光施設における感染症防止対策事業
- 学校保健特別対策事業費補助金

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した実施事業【効果検証資料】

No.	事業名	背景・目的・事業内容	総事業費	交付金対象額	事業成果(効果検証)	担当課	事業効果
1	地域経済対策支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、村外から観光等のお客様が減少し、地域経済全体が大きな打撃を受けた。落ち込んだ地域経済の活性化及び村民の生活支援を目的として、片品村商工会商品券(1人10,000円分)を村内に住所を有する全村民(約4,300人)を対象に配布した。商品券を配布された村民が、村内の商工会加盟施設で活用していただくことによる「村民の生活支援」及び施設で使用された商品券の換金に伴う「施設の売上増加」の両輪をねらって実施。	44,034,620	44,034,620	村内人口約4,300人×10,000円の商品券を配布し、村内商工会加盟店で活用していただくことにより、村内に約4,300万円の経済効果をもたらした。地域経済全体を考えれば、金額的にはそこまで大きいものではなかったのかもしれないが、仮にこの事業を実施しなければ、経済効果は0円であったことから、大きい事業成果を上げたと言えると考えられる。また事業終了後に村民の方からも「商品券を配布していただきまして非常に助かりました」という旨のお手紙を直接いただいたことも、村民の方々の民意を反映した成果だと考えられる。さらに人口の少ない小さい自治体ならではのかもしれないが「村民の方々へ対するきめ細やかな対応」を実施した。具体的には、不在の場合も可能な限り住所を調査し、極力全村民に配布できるよう事業実施に努め、村内の住所を有する村民99%以上の方々に配布できたことも事業のプロセスとして評価されるべきと考えられる。	総務課	非常に効果があった
2	片品村小口資金融資運転資金利子補給	新型コロナウイルス感染症の影響により、村内での商工業利用の減少や、村外からの観光・合宿等のお客様の減少があり、関係企業が大幅に打撃を受けた。そのため、業者が片品村小口資金融資を利用することが見込まれるため、存続に直接かかわる運転資金に関する利子を、令和2年中に新規借入したものについては村が利子補給する。	406,053	406,053	セーフティネット等の別の補助制度により当初の見込みほどの小口資金融資制度利用者がいなかったが、その中でも小口制度を利用した者に対して大きな補助となり、コロナ禍で苦勞する各事業者への一助となった。	むらづくり観光課	効果があった

3	大学生・短大生・ 専門学生支援金 給付事業	村を離れて大学等で学ぶ学生が、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みにより、仕送りやアルバイト収入の減収、リモートでの授業等の実施による経済的負担が増えるなどの影響をうけた。このことから、将来の夢や希望を失うことなく安定した学生生活が送れるよう、学費その他生活に必要な資金の一助として、大学生等1人あたり50,000円を支給した。	5,950,000	5,950,000	1人あたりの支給額は50,000円と大きくはないが、コロナ禍の学費等支援として大変効果があったと思われる。特に親御さんからは、「学費や教材費などの足しとして、大変助かりました。」との声も多くあった。今後、村への優れた人材を確保するため、未来を支える学生等の地元定着の足がかりとしていきたい。	総務課	非常に効果があった
4	観光/シティブロ モーション活動事 業	新型コロナウイルス景気対策経済的影響への対応を支援するため、日本政府ではGoToトラベル等の景気刺激策が実施されてる昨今、支援策終了後の景気の落ち込みが計り知れない状況であるため、支援策終了後も活用できる観光シティブロモーション事業を展開する。 アフターGoToの観点では支援策終了後の観光需要の維持をはかるため、チケットの販売は年度内に実施し、チケット有効期間を約1年間とし、観光需要の冷え込みのカンフル剤として活用するとともに、換金優遇された村商品券の交換を追加することにより観光業はもとより村内全体の経済波及効果が見込めるため。	47,000,000	28,040,684	感染防止の観点からWEBでの申込みを中心としチケット有効期間を約1年間と利用期間幅を持たせたことにより来村者の分散が図れ、一挙集中型回避がなされた。宿泊施設は、換金優遇された村商品券の交換を追加することにより観光業はもとより村内全体の経済波及効果が見込めると評価出来る。	むらづくり 観光課	非常に効果があった
5	GIGAスクール構 想関連事業	学校の臨時休業等の期間中も切れ目ない学習環境を提供するため、GIGAスクール構想関連事業(村内小中学校内LAN整備・一人一台端末の整備)の支援施策の対象とならない、また超える部分について充当した。	5,288,063	5,288,000	学校の臨時休業等の期間中も切れ目ない学習環境を提供するためのGIGAスクール構想関連事業(村内小中学校内LAN整備・一人一台端末の整備)の整備ができ、今後、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においてもICTの活用により学びを保障できる環境整備ができた。	教育委員 会	効果があった

6	在宅勤務導入支援事業	新型コロナウイルスが片品村内にて流行した際に、片品村役場の勤務態勢がテレワーク等になる可能性を踏まえて片品村役場庁舎内のWEB会議ができる環境を整えることを目的とした事業である。具体的にはWEBに接続できる端末をWEB会議対応(カメラ・マイク付き)のものに変更した。	9,442,400	9,442,400	現段階では、テレワーク等の勤務態勢は実施しておらず成果は今後村内で新型コロナウイルス等が流行した際に活用することで発揮される。テレワーク以外の業務で、群馬県や国の説明会・会議など、本来であれば出張を伴う会議等がWEB会議にて実施された。WEB会議対応のPCに変更したことにより滞りなくWEB会議に出席できるようになった。	総務課	効果があった
7	GIS関連システム整備事業	GIS(地理情報)システムに観光情報やコロナウイルス等の対策の情報を施設ごとに記載したものを地図上に落とし込み公開することを目的とした事業である。	484,000	484,000	運用が2月に始まり、情報を取りまとめている段階であるが、情報公開をすることにより、観光客の増加、また各施設を安心して利用してもらうことができるようになる。	総務課	効果があった
8	片品村がんばる事業者応援給付金交付事業	新型コロナウイルス感染症の影響により村外から観光等のお客様が減少し、村内の観光等事業者、宿泊事業者及び飲食店事業者が大きな打撃を受けた。その事業者の事業継続を応援するため、観光事業者及び飲食店事業者に1事業者あたり100,000円、宿泊事業者には客室数に応じて1事業者あたり200,000円～300,000円を給付した。	49,628,460	49,628,460	今回の新型コロナの影響で最も打撃を受けたのが、宿泊事業者をはじめとする観光事業者である。その損失に対する支援としてかなり効果的な事業であったと思う。 給付時期についても、スキーシーズン前の収入が一番少ない時に給付ができた。 この事業の一番の効果が「現金」による給付である。村にとって一番のかき入れ時である夏季の集客がほとんどなかったため、冬季に向けての資金繰りが大変な事業者がかなりあったと思われる。その資金繰りの一助として現金給付は大変成果があったと思われる。	むらづくり観光課	非常に効果があった

9	片品村交通支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大によって、旅行者が減少する中で、観光客の回復を図るため、貸切バスを利用した商品販売する旅行会社に対して助成を実施し誘客を図ることを目的とし、実施。	10,000,000	10,000,000	冬期における緊急事態宣言により、募集型、受注型ともに催行出来ない状況であったため、助成を再度開催し、継続的なツアーの構築を図るために従来から人気の高い春のシーズンの宿泊型ツアーを実施し、本来のツアーに肉付けをしたプログラム開発、または、いままで片品方面にツアーを取り入れていなかった新規の旅行会社へアプローチが図れ、ツアーを実施することにより継続的なツアーの構築、新規のツアーの獲得が期待でき、評価できる点といえる。	むらづくり観光課	非常に効果があった
10	片品村交通業者支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大によって、旅行者が減少する中で、観光客の回復を図るため、「新宿バスタ」⇄「道の駅尾瀬かたしな」間の乗合高速バスを例年通り運行することに対し、例年、道の駅到着後、各スキー場が無料シャトルバス運行を実施していたが、本年はスキー場の経費節減支援並びに、片品村交通事業者に対しては週末のシャトルバスを片品村交通業者に運行発注をかけ、営業収入支援を実施することを目的とし実施。	5,134,560	5,134,560	片品中心地からの営業車によるシャトルバス運行によって乗降時のホスピタリティ向上につながり集客に一定の成果が得られた。また、緊急事態宣言が発令されてから高速バス利用者が減少する中、予定通りシャトルバスの運行を継続したことによりスキー場の経費節減支援並びに、片品村交通事業者に対しての支援の達成がなされたこと評価できる。	むらづくり観光課	非常に効果があった
11	地域の名産品魅力発信事業	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により、観光と農業を基幹産業とする当村は、甚大な影響を受けている。観光業においては、緊急事態宣言に伴う不要不急の外出・移動の自粛等により、団体及び個人顧客の観光・レジャー・合宿需要が激減している状況である。一方、農業においては、消費者の外出需要の減少、飲食店の時短営業等の影響により、農産物の出荷数量が減少している状況である。</p> <p>このような状況を踏まえ、観光業の活性化及び農家の支援を図る為、本事業を活用し、村の地域資源（片品産トマト）を活用した新たな特産品（トマト焼酎）開発に取り組んだ。</p>	2,000,000	2,000,000	<ul style="list-style-type: none"> ・近年当村において生産・売り上げが伸びているトマトを使った片品村らしい新たな特産品としてトマト焼酎を開発することができた。 ・農業者に対しては、出荷できなかった規格外のトマトを仕入れることで支援することができた。今後継続して生産を続けることで農業者に対しての支援や規格外によって破棄されている野菜等を有効活用できる例とし、製品開発、そしては農業及び観光の活性化を図っていきたい。 ・今回の事業においては、特産品の開発を事業としているため観光への直接的な支援を行っていないが、完成した特産品の販売品やPRを行う中で活性化を図っていきたい。 	むらづくり観光課	効果があった

12	空撮を活用した観光PR事業	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により、観光を基幹産業とする当村は、緊急事態宣言に伴う不要不急の外出・移動の自粛等により、団体及び個人顧客の観光・レジャー・合宿需要が激減している状況である。そのため新型コロナウイルス感染症が収束後に客足が戻り、更には村内観光の活性化を目指すため、村内の各観光地等の紹介動画を作成し、SNSや動画配信サイトを活用して集客を図るものである。またその動画作成のために必要な素材を無人航空機（ドローン）による空撮によって確保する。</p>	836,990	836,990	<p>ドローンを操縦するための訓練、動画作成のための素材集め、素材の編集作業、といった動画配信を行うための準備を行っている段階で、まだ役場として動画を配信できていない。しかし動画自体は片品村観光協会へ依頼し動画を2本アップロードしている。成果として具体的な数値は出ていないが、動画を見て来村したという観光客と実際に会ったり、来村したい、という問い合わせもあったため効果はあったと言える。</p>	むらづくり観光課	非常に効果があった
13	広告誌掲載支援事業	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により、観光を基幹産業とする当村は、緊急事態宣言に伴う不要不急の外出・移動の自粛等により、団体及び個人顧客の観光・レジャー・合宿需要が激減している状況である。そのため広告誌へ飲食・宿泊・レジャー施設の情報を掲載し客足の回復を図ることで、観光関係事業者への支援を行う。具体的には県外移動の自粛といった状況等を考慮し、県外への情報発信をせず、県内を対象とするために群馬県内の広報誌であるDeli-J（上毛新聞TR）へ掲載を行った。</p>	1,452,000	1,452,000	<p>広報誌Deli-Jを見た来村した観光客や問い合わせがあったため掲載した効果があった。 ※広報誌の期間が令和3年3月末までのため、途中経過の確認で掲載した数店舗へ連絡し反響を確認した。</p>	むらづくり観光課	効果があった

14	観光案内強化事業	新型コロナウイルス感染症により、ツアー型から個人によるマイカー型観光へ需要が変化することを踏まえ、観光案内看板を新たに整備し観光案内の強化を図る。また、観光需要が落ち込んでいるため、古い看板等は撤去し景観を綺麗にすることで、片品村は綺麗なところというイメージ効果を狙う。	7,982,700	7,982,700	令和3年度の春夏観光需要に間に合うよう盤面デザインや撤去を行うことができた。新型コロナウイルス感染症の感染状況により、観光需要はまだまだ左右されるが観光需要は今後増えてくると予想される。観光案内看板を3ヶ所盤面を新しく整備したため、道の駅や観光協会への案内依頼の集中が緩和され、人が多くなることで発生する「密」を回避できるようになるだろう。	むらづくり観光課	効果があった
15	観光業Wi-Fi強化支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大によって、旅行者が減少する中で、環境整備を整え、旅行者が快適に過ごせる一環として、フリーWi-Fi「無料Wi-Fi」整備に要する経費について、その一部を補助し、観光客ストレスフリー環境整備の取組を支援する事業。	3,161,182	3,161,182	今回の事業により新たに観光業施設28件の設置がなされた。このことにより、利便性の向上が図れた。スマートフォンやタブレット端末を利用する観光客等の利便性向上並びに環境整備がなされたことによりキャッシュレス環境の加速化にもつながりアフターコロナに向け「新しい生活様式」に適応したエリアになり、誘客効果にもつながったことが評価できる点といえる。	むらづくり観光課	効果があった
16	水道基本料金免除事業(特別会計事業)	新型コロナウイルス感染症の影響により、村外から観光等のお客様が減少し、地域経済全体が大きな打撃を受けた。落ち込んだ地域経済の活性化及び村民の生活支援を目的として、片品村簡易水道に加入している使用中の全水栓(全体平均1,775件)を対象に使用料金のうち基本料金分(1ヶ月平均1,042円)を第2期分から第4期分までの計6ヶ月間にわたり免除した。数値については每期(2ヶ月毎に異動修正があることと、水栓口径により基本料金に差があるため平均値を算出している)	11,592,000	11,592,000	基礎的・生活費の一部である水道料金の一部を免除することにより、金額的にはそこまで大きいものではなかったのかもしれないが、仮にこの事業を実施しなければ免除額を他の経済用途に支払う事ができないため、ある程度の事業成果を上げたと言えると考えられる。全村民のうち多くが簡易水道に加入しているため、村民に一定程度額の免除ができたことも事業のプロセスとして評価されるべきと考えられる。	農林建設課	効果があった

17	移動スーパーによる地域の生活支援事業	<p>少子高齢化や跡継ぎ不足により、村内でも年々一人暮らしの高齢者が増加している。新型コロナウイルスの影響により、外出自粛をしなければならなくなった村内の一人暮らし高齢者等の買い物難民支援を担うスーパー事業者に対し事業継続支援を目的として、片品村移動スーパー事業者応援金の給付を行った。応援金の内容については、燃料費及び人件費などの必要な経費の一部として20万円を支給した。</p>	200,000	200,000	<p>移動スーパーで販売する商品に手数料などは含まず、店舗と同額で販売しているため利用しやすく、一人暮らし高齢者や各地域の高齢者の多くが利用している。</p> <p>このように、新型コロナウイルスに感染すると重症化しやすいと言われる高齢者が、公共交通機関を利用し、スーパーで買い物をすることを避けられた。また、村内には買い物をする場所も少ないため、高齢者等が地域を巡回する移動販売を利用することにより、村内の店舗での密集を避ける効果もあった。</p>	保健福祉課	効果があった
18	医療従事者支援事業	<p>新型コロナウイルス感染症が流行している中で、感染拡大防止のための対策を講じながら感染の危険と隣り合わせて勤務する医療従事者に対し、心身の健康を維持しながら就業が継続できるよう、自身の健康管理等に必要な経費を支援するために慰労金を支給。 (支給内容) 村内の医療機関に令和2年10月1日から引き続き勤務する医療従事者及び令和2年4月1日から本村の住民基本台帳に記載され村外の医療機関に勤務する医療従事者 51名に対しそれぞれ50,000円を支給した。</p>	2,550,000	2,550,000	<p>新型コロナウイルス感染症が流行している中で、感染拡大防止のための対策を講じながら感染の危険と隣り合わせて勤務する医療従事者に対し、感謝の気持ちを込めて、心身の健康を維持しながら就業が継続できるよう、自身の健康管理等に必要な経費を支援したことにより、村内および医療圏域内の病院等でクラスターの発生が抑えられている要因の一つになったと考えている。</p>	保健福祉課	効果があった

19	介護従事者支援事業	<p>新型コロナウイルス感染症が流行している中で、感染拡大防止のための対策を講じながら勤務する介護従事者に対し、心身の健康を維持しながら就業が継続できるよう、自身の健康管理等に必要な経費を支援するために慰労金を支給。 (支給内容) 村内の介護事業所に令和2年10月1日から引き続き勤務する介護従事者及び令和2年4月1日から本村の住民基本台帳に記載され村外の介護事業所に勤務する介護従事者 127名に対しそれぞれ 30,000円を支給した。</p>	3,810,000	3,810,000	<p>新型コロナウイルス感染症が流行している中で、感染拡大防止のための対策を講じながら勤務する介護従事者に対し、感謝の気持ちを込めて、心身の健康を維持しながら就業が継続できるよう、自身の健康管理等に必要な経費を支援するために慰労金を支給したことにより、村内および医療圏域内の介護施設でクラスターの発生が抑えられている要因の一つになったと考えている。</p>	保健福祉課	効果があった
20	介護事業所支援	<p>新型コロナウイルス感染症が流行している中、感染拡大防止のための対策に取り組む、事業を継続している介護サービス事業者に対し、今後の事業継続等を支援するため応援金を給付 ○ 給付対象;片品村に事業所を有し、民間が運営する介護サービス事業者で、令和2年2月1日以降現在まで事業が運営され、その後においても継続して事業運営する事業者。 ○給付額;施設系サービス 令和2年9月1日の入所定員に、2万円を乗じた額。 居宅系サービス 令和2年7月の1日平均利用件数の2分の1に、2万円を乗じた額。 ※円未満の端数は切捨てとし、同一事業者に対する交付限度額は、200万円。</p>	2,000,000	2,000,000	<p>新型コロナウイルス感染症が流行している中、感染拡大防止のための対策に取り組む、事業を継続している介護サービス事業者に対し、今後の事業継続等を支援するため応援金200万円を給付したことにより感染対策を徹底し感染を抑えると共に事業を継続している。</p>	保健福祉課	効果があった

21	<p>スクールバス臨時増車</p>	<p>現在、スクールバスを11台(うち村有バス:29人乗り3台、26人乗り3台、14人乗り3台 業者バス:29人乗り2台)11路線を運行している。 新型コロナウイルスの影響により、スクールバスにもソーシャルディスタンスを保ったバス運行が求められた。 そこで、新型コロナウイルス対策として、令和2年8月から12月まで臨時に他の公用車等(役場バス26人乗り2台と業者バス29人乗り1台)を一時的に借用して運行することにより、乗車定員の高い路線の乗車率を下げ、密を回避した。ス内の密集・密着を防ぐため、乗車率の高い路線の増車を行った。 ②運行事業者への委託費 ③村所有バス 朝9,042円×174便、朝夕26,730円×36便 業者所有バス朝23,100円×87便、朝夕42,515円×21便</p>	5,438,103	5,438,103	<p>新型コロナウイルス対策として、令和2年8月から12月まで臨時にバス3台(役場バス26人乗り2台と業者バス29人乗り1台)運行させ、乗車定員の高い路線の乗車率を下げ、密を回避することができた。</p>	教育委員会	非常に効果があった
22	<p>スクールバス利用者消毒液設置事業</p>	<p>①感染症対策としてスクールバス乗車時に手指の消毒を行う ②スクールバスに設置する消毒液及び設置器具等購入経費 ③アルコール消毒液9,979円×14缶、空ボトル385円×20個、ボトルホルダー4,400円×15個</p>	216,308	213,000	<p>スクールバス乗車時に児童生徒の手指の消毒を行うことができ、登校時についても感染症対策が徹底できた。</p>	教育委員会	非常に効果があった

23	スクールバス購入事業	<p>現在、スクールバスを11台(うち村有バス:29人乗り3台、26人乗り3台、14人乗り3台 業者バス:29人乗り2台)11路線を運行している。新型コロナウイルスの影響により、スクールバスにもソーシャルディスタンスを保ったバス運行が求められた。そこで、新型コロナウイルス対策として、令和2年8月から12月まで臨時に他の公用車等(役場バス26人乗り2台と業者バス29人乗り1台)を一時的に借用して運行することにより、乗車定員の高い路線の乗車率を下げ、密を回避しているが、借用期間が終了したため、1月以降は14人乗り(1BOX)を購入し増車対応車両として利用する。この車両の購入後は保護者の送迎対応も含め7割の乗車率減を見込んで運行した。</p>	3,498,000	3,498,000	<p>新型コロナウイルス対策として、令和2年8月から12月まで臨時にバス3台(役場バス26人乗り2台と業者バス29人乗り1台)運行させ、乗車定員の高い路線の乗車率を下げ、密を回避することができた。その後、借用期間が終了したため、1月以降は14人乗り(1BOX)を購入し増車対応車両として利用した。この車両の購入後は保護者の送迎対応も含め乗車率の軽減ができた。</p>	教育委員会	非常に効果があった
24	学校の臨時休業に伴う学習等への支援事業	<p>①感染症対策に伴う学習環境の整備 ②感染症対策等その他物品の購入費 ③電子黒板385,000円×8台、実物投影機19,569円×5台、加湿器46,200円×24台、キーボード5,852円×36台、非接触型体温計11,000円×6台</p>	3,454,517	3,454,517	<p>電子黒板及び実物投影機は、学校の臨時休業等の期間中も切れ目ない学習環境を提供するためのGIGAスクール構想関連事業関連としての整備ができた。 加湿器・キーボード・非接触型体温計は、登校時等の検温と手指消毒、教室内の換気及び湿度管理や飛沫を防止することができた。</p>	教育委員会	非常に効果があった

25	小中学校感染症対策環境整備事業	<p>新型コロナ感染症の影響により、手洗いの重要性が高まったが小中学校の蛇口は接触タイプの回旋式だったので、そこから感染する可能性もあったのでこれを交換する必要がありました。また小学校は網戸の未設置箇所が数多く、教室の換気時に虫が入ってしまい窓を開けることに抵抗がありました。中学校の体育館も網戸がなく体育の授業や放課後の部活時に不便をしています。</p>	14,641,000	14,641,000	<p>コロナの影響により、手洗いの重要性や室内の換気をする必要があったが、小中学校の蛇口は接触タイプの回旋式だったが、これを自動センサー水栓75カ所及びレバー式水栓53カ所に交換をして、非接触での手洗いをすることができるようになりました。また小学校の校舎には網戸の未設置箇所が数多く、教室の換気時には蚊やアブなどの虫が入ってしまい大混乱になっていたが、教室や廊下に網戸を136枚設置をしてこれを解消することが出来ました。中学校の体育館も網戸がなく換気をおこないながらの全校集会や、体育の授業及び放課後の部活時に窓を開けて換気を行うことができるようになりました。</p>	教育委員会	非常に効果があった
26	子ども学校用日よけシート設置事業	<p>小学校の一部にある、子ども学校の指導員がスクールバスの乗車の補助をしているが、待機する場所が玄関だと遠いバスのすぐ横だと危険なので、新型コロナ禍での対応が必要になっている。</p>	1,199,000	1,199,000	<p>新型コロナ対策のため、スクールバスの乗車時の密集密着を防ぐため、子ども学校の前に日よけシートを2枚設置しスクールバスの待機所として利用する。待機場所が玄関だと遠いこともあるが密集密着してしまい不都合だったが、日よけシート2枚の下の空間だとちょうど良いスペースで室内ではないので、コロナ対策には最適な方法でした。</p>	教育委員会	効果があった
27	文化センター用飛沫防止対策用アクリル板購入事業	<p>コロナの影響により、行事や会議を実施する場合は飛沫防止対策が必須であり、開催頻度の多い文化センター内で行われる行事や会議のために購入した。行事では成人式で使用し、会議では婦人会等の会議で使用した。</p>	171,364	171,364	<p>成人式では司会者の前に設置して使用した。サイズが大きく演台の前に設置できるため飛沫防止を広範囲で行えた。また、司会者の手元のスペースを取らず圧迫感も無く使用することができる。会議においても同様で、司会進行や説明をする方の前に設置することで飛沫防止対策に繋がった。今後も使用する機会が多いと思われるため、非常に効果があつと言える。</p>	教育委員会	非常に効果があった

28	学校給食関連事業者への応援事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休校が長期化し給食の納入業者に大きな打撃を与え、廃業を検討せざるを得ない業者も現れた。学校給食の制度を維持していくためには給食納入業者の協力が欠かせない。業者が事業継続できるよう休校中にキャンセルした食材の費用を補償した。</p>	40,281	40,281	<p>少子化で事業が縮小する中、さらに臨時休校で打撃を受けた給食納入業者がなんとか事業を継続し学校給食の制度が維持できた。</p>	給食センター	非常に効果があった
29	高齢者携帯端末買替促進事業	<p>村内に住所を有する高齢者の、携帯電話（いわゆるガラケー）からスマートフォンへの携帯端末買替等を促進し、マイナンバーカード等を利用したキャッシュレス（非接触決済）の推進、感染症リスクの回避の一助とするため、スマートフォンの購入費用に対し、補助金を交付。 ○受給対象（次の各号のいずれにも該当する者） （1）村内に居住し、本村の住民基本台帳に記録されている満65歳以上の者 （2）世帯に属する全ての者が村税等を滞納していない者 （3）過去にスマートフォンを購入していない者 （4）補助金の交付を受けることができる台数は高齢者1人につきスマートフォンを新規に購入した場合の1台とし、その申請回数は1回 ○補助金額；スマートフォン購入に要した額のうち、5,000円を限度に補助</p>	105,000	105,000	<p>村内に住所を有する高齢者の、携帯電話（いわゆるガラケー）からスマートフォンへの携帯端末買替等を促進し、マイナンバーカード等を利用したキャッシュレス（非接触決済）の推進、感染症リスクの回避の一助とするため、スマートフォンの購入費用に対し、21名に補助金を交付した。</p>	保健福祉課	効果があった

30	非接触型検温・消毒液機購入事業	新型コロナウイルスが流行する中、不特定多数の人が来る施設では有人での検温を実施。消毒に関してもボトル式接触型の消毒器を利用。これらにより感染リスクや人件費が大幅に増加。全自動型非接触型検温機（消毒液自動散布機能付）を村内で4台導入することで、来訪者数の多い施設での感染リスクを減らすことを目的として本事業を実施。	1,119,800	1,119,800	全自動型非接触型検温機を導入することにより、人とひととが接触する機会を大幅に減らすことができた。また、施設の入り口で検温を実施することにより来訪者へ感染症対策への意識付けを行うことができた。今後多くの人が参加するイベントなども予定されているので、積極的に活用していきたい。	総務課	効果があった
31	公共的空間・安心確保事業	公的空間での感染機会の軽減（感染防止対策）を目的とし、議場含む役場庁舎内執務室机及び窓口机に設置するために自立式アクリルボードを100枚を購入する事業です。	1,298,000	1,298,000	職員の使用する机の間や、議場にある議員席に1枚ずつ自立式のアクリルボードを設置することにより、飛沫等を防止するなど、新型コロナウイルス感染防止に効果がありました。	総務課	非常に効果があった
32	小中学校LAN整備事業	学校の臨時休業等の期間中も切れ目ない学習環境を提供するため、GIGAスクール構想関連事業（村内小中学校内LAN整備・一人一台端末の整備）の支援施策の対象とならない、また超える部分について充当した。	8,120,000	8,120,000	学校の臨時休業等の期間中も切れ目ない学習環境を提供するためのGIGAスクール構想関連事業（村内小中学校内LAN整備・一人一台端末の整備）の整備ができ、今後、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においてもICTの活用により学びを保障できる環境整備ができた。	教育委員会	非常に効果があった

33	学校保健特別対策事業費補助金	<p>①登校時等の検温と手指消毒、教室内の換気及び湿度管理を行う</p> <p>②非接触検温消毒機・サーキュレーター・加湿空気清浄機の購入費</p> <p>③・非接触検温消毒機 302,500円×3台=907,500円・サーキュレーター 5,324円×24台=127,776円・加湿空気清浄機 46,200円×24台=1,108,800円</p> <p>うち国庫補助事業分</p> <p>④片品村立小・中学校 (補助率1/2 国庫補助上限額 100万円 1校あたり50万円)</p>	2,000,000	1,000,000	登校時等の検温と手指消毒、教室内の換気及び湿度管理を行うことができ、感染症予防対策の徹底が可能となり、学校休業のリスクが抑えられた。	教育委員会	非常に効果があった
34	がんばる片品村民応援プレミアム付商品券事業	<p>新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる村内経済の活性化と村内消費喚起のため、100%のプレミアム付き商品券を発行した。商品券1冊(10枚:10,000円分)を5,000円で販売、村民1人あたり2冊まで購入可能。商品券を購入した村民が、村内の加盟店で活用していただくことによる「村民の生活支援」及び村内事業者の商品券の換金に伴う「地域経済の活性化」の両輪をねらって実施。</p>	88,614,773	45,089,773	<p>発行総数の8,620冊から増刷し、第1次・第2次販売合わせて約8,700冊を販売した。「村民の生活支援」の観点から、冬季に向けた食材や燃料等の購入に充てることができたため、大変効果があった。村民からも「家計の助けになるので、大変ありがたかった。」などの声が多かった。</p> <p>また、「地域経済の活性化」の観点からも、87,266千円の換金(換金率:99.6%)があったことを考えると村内の経済効果は絶大であったと思われる。取扱店も約100店舗の参加をいただき、村内の幅広い業種に対応することができた。</p>	総務課	非常に効果があった
35	災害避難所用パーティションの購入	<p>近年、豪雨や地震などの自然災害等が全国各地で多発している。もし自然災害が発生し避難所への避難が必要となった場合には、新型コロナウイルス感染症への対応を含めた避難所の衛生環境をつくる必要が生じている。その備えとして、段ボール製のパーティションを20ユニット購入した。</p>	242,000	242,000	<p>避難所等開設時にプライベート空間を確保することにより、衛生環境を確保でき、感染症対策に対して効果が期待されている。収納時にはコンパクトに折りたたむことができ、有事には迅速に対応することも可能である。</p>	総務課	効果があった

36	役場庁舎感染症 防止対策強化事 業	<p>役場庁舎及び関係機関の感染症対策を強化するため、感染防止対策用の消耗品等を購入した。</p> <p>(主な購入物品)消毒用手袋、ペーパータオル・ゴミ箱、除菌用アルコール机、手指消毒液、庁舎カウンター飛沫対策パーティション作成用資材</p>	542,110	542,110	<p>新型コロナ流行前には、上記の物品はほとんど準備がなかったため、新規で揃えることができた。5月以降、コロナ対策に係るさまざまな手続きのために来庁者が増えたことから、手指消毒液などの購入は感染防止対策として大変効果があった。特徴的なものとしては、庁舎カウンター飛沫対策パーティション作成用資材の購入である。パーティションを作成するために資材のみを購入し、職員が自前で作成した。コロナ対策に係る費用が増えるなかで、経費の削減につとめることができた。</p>	総務課	効果があった
37	高齢者及び児童 の感染拡大予防 対策	<p>小中学生及び高齢者の感染防止対策として、小中学生及び75歳以上の高齢者に携帯用消毒液スプレーボトルを配布した。</p> <p>・携帯用消毒液スプレーボトル 1500個</p>	577,500	577,500	<p>小中学生及び高齢者が外出の際に常に携帯できるものなので、感染防止対策として効果があったといえる。特に高齢者については1人暮らしの方も多く、消毒液を持っていないご家庭もあると推測される。高齢者向けには職員が1つ1つに消毒液をボトルに入れて配布した。</p>	総務課	効果があった
38	がんばる農業者 経営継続支援金 交付事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、村外から観光等のお客様が減少し、地域経済全体が大きな打撃を受けた。落ち込んだ地域経済の活性化及び村民の生活支援を目的として、村内在住の農業者に対して今後の農業経営継続等を支援するため支援金(1事業者50,000円)の交付を実施。</p>	4,907,056	4,907,056	<p>村内の農業者に農業経営等を支援するために支援金の交付したことにより、金額的にはそこまで大きな支援にはならなかったかもしれないが、この事業を実施したことで農業者に対してこれから始まる農作業にかかる経費を金銭面で支援することができ、ある程度の事業成果を上げたと言えると考えられる。</p>	農林建設課	効果があった

39	ウィンタースポーツ支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大によって、旅行者が減少する中で、観光客の回復を図るため、誘客宣伝を実施しているスキー場事業者に対し費用補助を実施し冬期における片品村の主要産業の誘客及び集客支援することを目的に実施。	24,571,320	24,571,320	片品村冬期主要産業であるスキー場の来場者増員並びに経営支援になるべく、スキー場リフト券を購入し、感染防止の観点からWEB展開のイベントを実施しノベルティとしてリフト券を提供することにより来場者の増員が図れ、スキー場来場者は旅行費用で本来リフト券購入費用が宿泊を促すことができ、観光事業者全体の経済波及効果につながったことが評価の点といえる。	むらづくり観光課	非常に効果があった
40	屋外を利用した公共観光施設における感染症防止対策事業	道の駅尾瀬かたしなや花咲の湯などの観光施設では休憩や飲食をするスペースは屋内のみで小まめな換気等を行っていても二酸化炭素濃度の上昇などが懸念されていた。	1,787,720	1,787,720	屋外にも休憩や飲食できるスペースを設けることにより二酸化炭素濃度を気にすることなく、利用者が開放的で快適に過ごすことが出来るようになった。また座席の間隔を空けつつ座席の絶対数を確保することによりお客様を待たせることなく利用していただくことが出来た。	むらづくり観光課	非常に効果があった
41	公共観光施設従事者及び利用者の感染症防止対策事業	道の駅尾瀬かたしなや花咲の湯などの観光施設ではフロントでの受付や、休憩や飲食をする利用者のために座席間隔を空けるなどの対応をしていたが新型コロナウイルスの感染拡大防止のためには不十分な面があった。	465,140	465,140	フロントや各テーブルにアクリルパーティションを設置することにより飛沫感染防止に大いに役立っている。また大型のパネルを使って場所を区画することによりそれぞれの利用者が安心して利用することが出来るようになった。	むらづくり観光課	非常に効果があった

42	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 利根商業高等学校運営費設置者負担金	675,600	6,700	利根商業高等学校における新型コロナウイルス感染症対策に寄与した。	教育委員会	効果があった
43	学校保健特別対策事業(単独分)	学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業の地方単独事業分。 登校時等の検温と手指消毒、教室内の換気及び湿度管理を行うため、非接触検温消毒機・サーキュレーター・加湿空気清浄機の購入した。	144,076	144,000	登校時等の検温と手指消毒、教室内の換気及び湿度管理を行うことができ、感染症予防対策の徹底が可能となり、学校休業のリスクが抑えられた。	教育委員会	効果があった

376,781,696 312,625,033